

市民からの持続可能性アセスメントの 提案とモデル事業の実施

活動地域

 長野県、日本全域



夢洲生きものフォトアルバム (2回/年)

課題

日本では持続可能性アセスメントが導入されていない。開発行為の持続可能性を評価する仕組みを構築することで、SDGsに向けた取組みの実効性を高めていく必要がある。

目標

持続可能性アセスメントを市民活動の分野から提言し、実践を広げていくことで、日本における持続可能性アセスメントの導入を促進する。



今後の
展望

モデル事業では、これまでの環境アセスメントの枠組みとは違った市民参加による開発手法の開拓につながるとの確信を得つつある。3年目にはこれらを集約させて、事例集としてまとめていきたい。

活動内容と成果

- ①環境アセスメント学会研究発表大会での発表
- ②オンライン学習会等の開催 (5回、延べ162人参加)
- ③大阪万博アセス「私たちからの準備書 (生物多様性編) 及び (持続可能性編)」の発表
- ④夢洲の生物多様性調査 (42回、延べ182人参加)
- ⑤小冊子「夢洲 生きものフォトアルバム」刊行 (2回)
- ⑥水島環境再生プラン持続可能性評価指標の追跡調査
- ⑦オンラインSDGs学習ソフト「つきのくんと考える <開発と環境>」プログラム案の作成と検討
- ⑧環境教育関係者とのオンライン研究会 (2回)



夢洲の生きもの調査 (42回/年)

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

提言、冊子等の
公表、刊行、発信 **5件**

調査活動、学習会等の
開催 **52回**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **90%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

「環境教育への展開」が新型コロナウイルス禍で思うように実施できなかったため、オンラインでのプログラム案を専門家とともに検討した。

■ 工夫した点

各地の環境NPO (大阪、倉敷、東京) と協働したモデル事業の実施と、専門団体・学会との連携。

〒398-0002
長野県大町市大町3302
電話：0261-22-7601 (FAX兼用)
E-mail: npo@omachi.org
HP: <http://npo.omachi.org/>

